

## 企業メセナにおけるパートナーとは？

### 目次

- 1.はじめに
- 2.企業メセナにおけるパートナーシップの変遷
- 3.研究方法
  - 3-1.調査対象の設定・選定
  - 3-2.調査概要
- 4.事例
  - 4-1.三菱地所株式会社 「三菱地所の Shall We コンサート」
    - 〈企業概要〉
    - 〈事業概要〉
    - 〈実施方法〉
    - 〈演奏団体概要〉
    - 〈事業参加の経緯〉
    - 〈実施方法 日唄文化協会〉
  - 4-2. 公益財団法人三井住友海上文化財団 「地域住民のためのコンサート」
    - 〈財団概要〉
    - 〈設立目的〉
    - 〈事業概要〉
    - 〈実施方法〉
- 5.考察
  - 5-1.パートナーとの関係性
    - 〈文化芸術団体・アーティスト〉
    - 〈行政・学校〉
  - 5-2.パートナーのあり方
- 6.おわりに

## 1.はじめに

2001年、「企業メセナ協議会の提言～次なる10年に向けて メセナ”pARTner”計画」という提言が企業メセナ協議会によって発表された。この提言では、21世紀の企業のメセナ活動のキーワードが「パートナーシップ」であること、そして、今後の企業メセナが「パトロンからパートナーへ」と質的転換していくことについて言及している（企業メセナ協議会, 2003, p.227-231.）。

この「パトロンからパートナーへ」の変容を、加藤種男は「支援する側と支援される側の一方的な関係から、双方が持てる資源を提供しあって新たな関係を生み出す、双方向的なものに変わってきている」（加藤, 2002）と指摘している。

そこで本調査では、企業メセナ活動を現在の企業メセナにおけるパートナーのあり方に焦点を当てて捉えることを試みる。

## 2.企業メセナにおけるパートナーシップの変遷

企業メセナ協議会のメセナレポートによると、パートナーシップとは、「名義のみの共催といった形式的なものではなく、企画や運営を共同でおこなうようなもの」（企業メセナ協議会, 2001, p9）とされており、パートナーとは、共同で活動を行っていく相手のことをさしている。

このパートナーシップによる企業メセナ活動について、どのくらいの企業が実施しているのかというと、メセナ活動を実施した企業のうち、2000年度から2009年度まで順に、50.4%、51.2%、58.9%、48.8%、53.3%、54.6%、52.8%、52.0%、52.6%、53.1%<sup>1</sup>（企業メセナ協議会, 2001, p9、2002,p9、2003,p5、2004,p5、2005,p5、2006,p5、2007,p5、2008,p6、2009,p5、2010,p5）がパートナーシップによるメセナ活動を行っている（図1）。すなわち、2000年度から2009年度において、企業メセナ活動を実施した企業の約半数がパートナーシップによる活動を実施しているのである（図1）。

---

<sup>1</sup> 『メセナレポート』では、前年度の企業メセナ活動の実績についてアンケート調査を行っている。例えば、『メセナレポート 2001』の調査対象期間は2000年4月1日～2001年3月31日（2000年度）である。

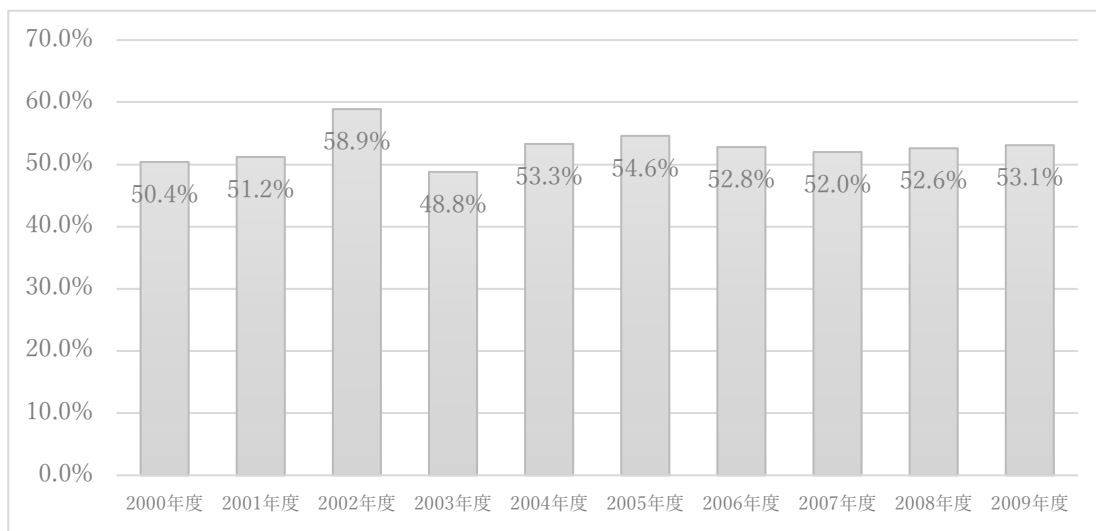


図1 パートナーシップによるメセナ活動を実施した企業の割合  
(メセナリポート 2001～2010 から筆者作成)

では、企業メセナにおいて、パートナーとは誰なのだろうか。メセナリポートでは、2000年度から2009年度までの10年間について、パートナーシップを組んだ相手について調査している。その中で、2000年度から2009年度の調査期間中に継続して調査項目としてあげられているパートナー団体として、「文化芸術団体・アーティスト」と「行政」がある。

まず、企業メセナにおいて文化芸術団体やアーティストをパートナーとしている割合は、2000年度から2009年度まで、順に39.4%、36.9%、51.9%、51.5%、44.2%、49.6%、50.2%、65.3%、65.6%、65.2%となっている。(企業メセナ協議会, 2001,p9、2002,p9、2003,p5、2004,p5、2005,p5、2006,p5、2007,p5、2008,p6、2009,p5、2010,p5)。図2からわかるように、2004年度に割合が少し減少するものの、全体的には文化芸術団体やアーティストをパートナーとしている割合は緩やかな増加傾向であるといえる。特に2007年度以降は、2007年度に65.3%、2008年度に65.6%、2009年度に65.2%と3年連続で60%を超えており、パートナーシップによる企業メセナ活動を実施した企業の60%以上が文化芸術団体やアーティストをパートナーとして企業メセナを実施していることになり、その割合は高いといえる(図2)。

続いて、企業メセナにおいて行政をパートナーとしている割合をみると、2000年度から2009年度まで、順に37.1%、35.9%、28.1%、28.5%、31.0%、25.6%、27.5%、36.8%、34.4%、36.1%となっている(企業メセナ協議会, 2001,p9、2002,p9、2003,p5、2004,p5、2005,p5、2006,p5、2007,p5、2008,p6、2009,p5、

2010,p5)。図3からわかるように、変動はあるものの、パートナーシップによる企業メセナ活動を実施した企業のうち、毎年25%以上が行政をパートナーとしていることがわかる(図3)。

さらに、2002年度からは、調査項目に「学校などの教育機関」というパートナー団体を加えて調査している。学校などの教育機関の割合をみると、2002年度から2009年度まで、順に19.6%、17.0%、22.6%、24.0%、23.5%、29.3%、29.5%、27.5%となっている(企業メセナ協議会, 2003,p5、2004,p5、2005,p5、2006,p5、2007,p5、2008,p6、2009,p5、2010,p5)。図4からわかるように、学校などの教育機関をパートナー団体とする企業は2002年度から2009年度までで緩やかに増加している。特に2007年度以降は、パートナーシップによる企業メセナ活動を実施した企業の25%以上が学校などの教育機関をパートナーとしていることがわかる(図4)。

上記のメセナレポートによる調査から、企業メセナにおいて、パートナーシップによる活動が約半数の企業で実施されており、そしてそのパートナー先となる団体は、文化芸術団体・アーティストが多く、行政あるいは学校などの教育機関については、一定の割合でパートナー団体として選ばれていることがわかる。

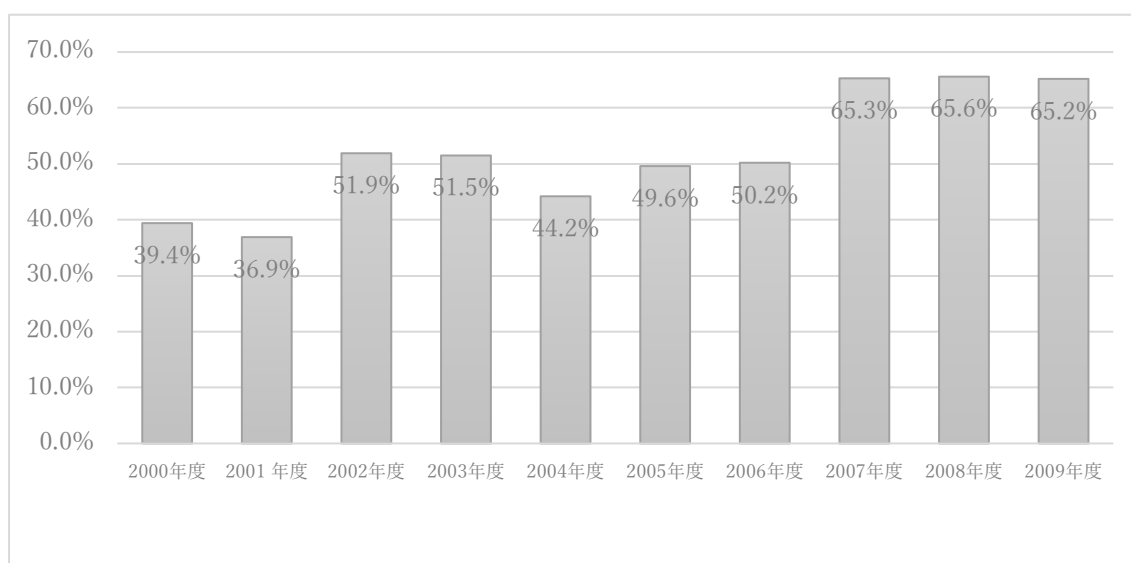


図2 文化芸術団体・アーティストとパートナーシップを組んだ割合  
(メセナレポート 2001~2010 より筆者作成)

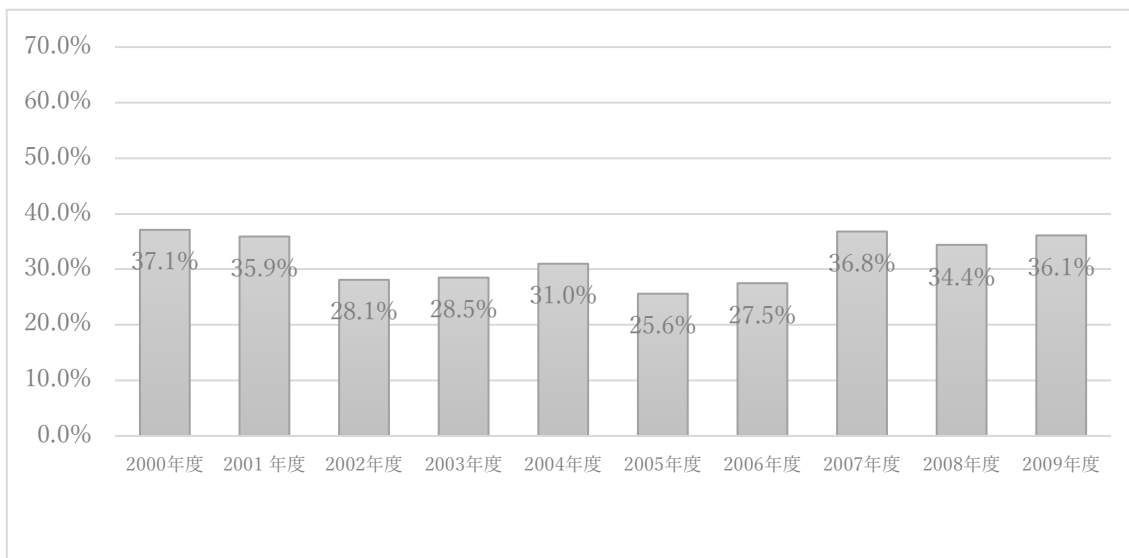


図3 行政とパートナーシップを組んだ割合  
(メセナリポート 2001～2010 より筆者作成)

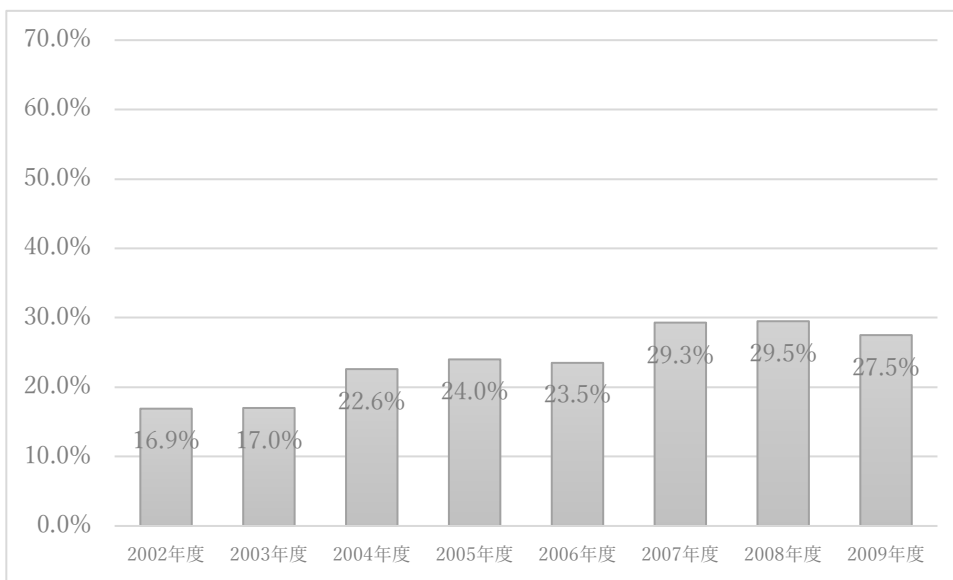


図4 学校などの教育機関とパートナーシップを組んだ割合  
(メセナリポート 2003～2010 より筆者作成)

### 3.研究方法

2章で述べた通り、パートナーシップによる企業メセナ活動については、メセナレポートによって概要を知ることができる。しかし、同レポートでパートナーシップについての調査が行われているのは2000年度から2009年度までである。

そこで本調査では、現在の企業メセナにおけるパートナーシップによる活動はどのような形で実施されているかを具体的な事例から捉えていく。

#### 3-1.調査対象の設定・選定

以下の条件で対象を選定した。

- ・企業メセナの活動で最も実施の多いクラシック音楽（企業メセナ協議会, 2020, p.27）による事業
- ・メセナアワード（2003年まではメセナ大賞）受賞歴のある事業
- ・パートナーシップ<sup>2</sup>による活動を行っており、10年以上継続している事業
- ・アウトリーチ<sup>3</sup>活動を実施している事業

上記の条件の中から以下の2事例を選定した。

- ・三菱地所株式会社 「三菱地所の Shall We コンサート」
- ・公益財団法人三井住友海上文化財団 「地域住民のためのコンサート」

#### 3-2.調査概要

各企業・団体にヒアリング調査を実施した。日程等の詳細は以下の通りである。なお、肩書きや役職については調査当時のものである。

2020年10月5日 三菱地所株式会社本社にてヒアリング調査を実施

三菱地所株式会社

サステナビリティ推進部

- ・ユニットリーダー 大須賀章記氏
- ・主事 佐川素子氏
- ・坂井亜紀子氏

---

<sup>2</sup> パートナーシップの定義は、メセナレポートによる定義「名義のみの共催といった形式的なものではなく、企画や運営を共同でおこなうようなもの」（企業メセナ協議会, 2001, p9）とした。

<sup>3</sup> ここでのアウトリーチ活動は、学校や福祉施設などのホール以外の場所で行うコンサートやワークショップのこととした。

2020年11月25日 三菱地所株式会社本社にてヒアリング調査を実施  
日壇文化協会 常務理事・事務局長  
・佐藤三奈氏  
三菱地所株式会社  
サステナビリティ推進部  
・主事 佐川素子氏  
・坂井亜紀子氏

2020年12月7日 公益財団法人三井住友海上文化財団事務所にてヒアリング調査を実施  
公益財団法人三井住友海上文化財団  
・専務理事・事務局長 水野谷修一氏  
・コンサートコーディネーター 宮下華奈氏

ヒアリングについては、事業概要の他、以下の点を中心に質問した。

- ・パートナー団体とのやりとりについて
- ・パートナー団体との関係性について

#### 4.事例

4-1.三菱地所株式会社 「三菱地所の Shall We コンサート」（以下、Shall We コンサート）

##### 〈企業概要〉

企業名 三菱地所株式会社（以下、三菱地所）  
本社所在地 東京都千代田区大手町 1-1-1 大手町パークビル  
創業年 1937年  
事業内容 オフィスビル・商業施設等の開発、賃貸、管理  
収益用不動産の開発・資産運用  
住宅用地・工業用地等の開発、販売  
余暇施設等の運営  
不動産の売買、仲介、コンサルティング

##### 〈事業概要〉

「Shall We コンサート」事業は、サステナビリティ活動の一環として、社会貢献活動・文化芸術支援の取り組みのひとつとして位置付けられ、実施されている（三菱地所ホームページ）。

この事業は、外出の機会が限られ生の音楽に触れる機会が少ない都内の特別支援学校の児童生徒を対象に、学校の体育館等でクラシック音楽によるコンサートを実施するというものである。コンサートの時間は約1時間である。

事業は2004年に開始され、これまでに94回（2020年度現在、企業メセナ協議会, 2021）実施されており、延べ1万人以上の児童生徒に生の音楽を届けている。2017年にメセナアワード大賞を受賞した事業である。

実施については、実施校の募集や学校との打ち合わせ、コンサート当日の運営まで、三菱地所の事業担当者が行っている。

#### 〈実施方法〉

実施する学校は、都立特別支援学校校長会事務局長に許可をもらい募集している。毎年約20校の応募から5～6校を選んで実施しており、2019年度の実施校は5校であった（表1）。

コンサートは、特別支援学校の体育館や教室で行う。学校の規模にもよるが、1回のコンサートに、約50～500人くらいの児童生徒が参加する。

2019年度 開催校（順不同）
東京都立臨海青梅特別支援学校
東京都立城南特別支援学校
東京都立大泉特別支援学校
東京都立墨東特別支援学校かもめ分教室
東京都立大塚ろう学校

表1 2019年度 Shall We コンサート実施校（三菱地所ホームページより筆者作成）



演奏を担当する団体は、毎年調整を行い決定している。2019年度は、「日  
 唄文化協会」、「MUSIC PLAYERS おかわり団」、「バンミーターズ」の3  
 団体であった（表2、同ホームページ）。いずれの団体もプロとして活動して  
 いるアーティストである。

演奏団体	
日唄文化協会	ヴァイオリン・チェロ・ピアノなど
MUSIC PLAYERS おかわり団	ヴァイオリン・トランペット・サクソフォーン・ チューバ・パーカッション・ピアノ
バンミーターズ	ピアノ・サクソフォーン・チューバ・パーカッション

表2 2019年度 Shall We コンサート参加団体（三菱地所ホームページより筆者作成）

三菱地所の担当者は、まず募集に際して、希望日、人数等を記載いただく申  
 込書を学校宛に送付する。その後、実施校とどの演奏団体に依頼するかを検討  
 し、各団体と日程調整等を行い、実施日と演奏団体を決定する。実施日と演奏  
 団体が決まると、実施校との打ち合わせを行う。打ち合わせは、実施会場の大き  
 さや学校の様子を知るといった目的があるため、実施校に出向いて行う。その  
 際、学校の担当者から、コンサート内容についての要望や児童生徒の様子、演  
 奏曲のリクエストなどを聞き、演奏プログラムを検討する際の参考にする。そ  
 して実施日までに、演奏団体と適宜打ち合わせ等を行いながら演奏プログラム  
 を決定し、児童生徒に配布するプログラムを印刷作成する。

Shall We コンサート事業に参加する3つの演奏団体のうち、3-2の調査概要  
 で述べた通り、本調査では日唄文化協会にヒアリングを実施した。

#### 〈演奏団体概要〉

団体名 日唄文化協会  
 団体所在地 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル 12F  
 設立年 1985年  
 事業内容 オーストリアの文化（音楽・舞踊・食など）に関する事業を実施

#### 〈事業参加の経緯〉

日唄文化協会は、「オーストリアを愛する方達が集い、文化、芸術、食…すべてを楽しむために活動している会」（日唄文化協会ホームページ）である。設立は1985年であり、会員数は、個人会員約370名、賛助個人会員6名、賛助法人会員40社／団体（同ホームページ）である。クラシック音楽のコンサートやアマチュアピアノコンクール、オーストリアの食文化に関するイベントなどを開催し、オーストリアの文化を日本に紹介している。

当協会は、演奏家だけではなく、オーストリアにゆかりのある個人や団体が会員となっている。三菱地所は、当時の社長が日唄文化協会の設立に関わっていたこともあり、現在日唄文化協会の賛助法人会員である。そのような縁もあって、日唄文化協会は、Shall We コンサートの開始4年後の2007年から現在まで演奏団体として継続して事業に参加している。

#### 〈実施方法 日唄文化協会〉

日唄文化協会の Shall We コンサートへの参加は毎年1～2校である。日唄文化協会事務局の佐藤三奈氏が三菱地所と演奏者との窓口となって連絡調整を行い、事業に参加している。佐藤氏は2007年の初回から現在まで Shall We コンサート事業を担当しているため、事業の変遷を知る貴重な人材である。

まず、三菱地所の担当者より、実施日や実施校等の情報をもとに依頼を受けると、事務局で演奏者を検討し、対応可能な場合は依頼に応じる。演奏者を決める際には、学校からのリクエストを踏まえながら、演奏者のスケジュールを考慮して調整を行う。演奏者が決定すると、演奏者に仮の演奏プログラム案を考えてもらい、演奏曲や演奏者が考えている内容を確認する。

その後佐藤氏は、三菱地所の担当者と一緒に学校での打ち合わせに出席する。学校での打ち合わせの際には、学校の様子や、先生からのリクエストがないかなどを確認する。校歌を歌ったり、児童生徒がタンバリンやカスタネットなどの打楽器を演奏したりして一緒に共演したいというリクエストが出る時もある。打ち合わせが終わると、その内容を演奏者にフィードバックし、必要な場合は学校からの要望等を踏まえて、演奏者にプログラム案を再検討するよう伝える。学校から演奏曲や共演などのリクエストがあった場合は、なるべく応えるようにしている。

プログラムを考える際は、1曲の演奏時間が長すぎないものにし、クラシック音楽の曲だけでなく、ポピュラー音楽の曲も入れている。

#### 4-2. 公益財団法人三井住友海上文化財団 「地域住民のためのコンサート」

##### 〈財団概要〉

財団名	公益財団法人三井住友海上文化財団
財団所在地	東京都中央区京橋 1-6-1 三井住友海上テプコビル 5 階
設立年	1988 年
事業内容	文化及び芸術の振興並びに国際交流の促進に寄与するため、音楽・郷土芸能の分野における、文化及び芸術活動に関する事業を実施
財団職員	4 名

##### 〈設立目的〉

公益財団法人三井住友海上文化財団（以下、三井住友海上文化財団）は、1988 年に、大正海上火災保険株式会社（現三井住友海上火災保険株式会社）の創立 70 周年を記念しメセナ活動を担う団体として、音楽・郷土芸能の分野において、文化及び芸術活動に関する事業を行い、文化及び芸術の振興並びに国際交流の促進に寄与することを事業目的として掲げ、設立（三井住友海上文化財団ホームページ）された。

##### 〈事業概要〉

三井住友海上文化財団は、コンサート事業と国際交流助成の 2 事業を柱として活動している。

「地域住民のためのコンサート」は、この 2 事業のうちのひとつであるコンサート事業のメインとなる活動であり、財団設立時の 1990 年から実施している。1995 年にメセナ大賞メセナ普及賞を受賞した（企業メセナ協議会, 1996, p.317）事業である。

この事業は、都道府県、市町村および当財団の三者共同主催により、各地の公立文化ホール等を会場として、地域の皆さまへ廉価で質の高いコンサートを実施するものである（同ホームページ）。パッケージ化されたコンサートを実施するのではなく、コンサート企画や運営の方法について財団職員が助言をしながら、コンサートを作り上げていく事業であることが特徴である。

##### 〈実施方法〉

この事業は全国で開催している。実施先の募集は、各都道府県の担当課を通して行う。そして、各都道府県で取りまとめてもらった応募の中から、実施先を選定する。毎年約 130 件の応募の中から 30 カ所程度選定するが、選定の際

は同じ都道府県内の市町村ばかりに偏らないよう、各都道府県に1カ所程度になるように調整している。約130件の応募のうち、半数程度が新規の応募だが、残り半数程度は一度実施したことのある市町村からの再応募である。

また、コンサートの実施に併せて、交流プランという事業を組み合わせて実施することもできる。交流プランとは、コンサートでの演奏者との共演、小中学校での鑑賞教室、未就学児とその保護者を対象とした子どもミニコンサート、クリニック、マスタークラスなどである。最近では、全体の8割程度の実施先で交流プランを実施している。

演奏者については、有識者による選考委員会による協議によって選考を行っている。演奏力だけでなく、市町村の要望に寄り添ってプログラムを工夫し、コンサートを実施できることが選考基準である。そのため、この事業に参加する演奏者は、第一線で活躍し、かつ事業の趣旨を理解して賛同する演奏者が選ばれており、実施団体の要望に合わせた質の高いコンサートや交流プランを実施することができる。2021年度の演奏者は23組が選定されており（同ホームページ）、演奏者の一覧は表3の通りである。

このように、地域住民のためのコンサート事業は、柔軟性の高い様々なジャンルの一流演奏者を取り揃え、応募した市町村担当者が演奏者を選びやすいように工夫している点が特徴のひとつであるといえる。

楽器	氏名・団体名	楽器	氏名・団体名
ピアノ	及川浩治	サクソフォン	須川展也
ピアノ	仲道郁代	木管五重奏	アミューズ・クインテット
ピアノ	鐵百合奈	ホルン	福川伸陽
ソプラノ	中嶋彰子	金管五重奏	ザ・チェンバーブラス
カウンターテナー	藤木大地	金管・打楽器アンサンブル	なぎさブラスゾリステン
ヴァイオリン	成田達輝	パーカッション	加藤訓子
弦楽四重奏	カルテット・アマービレ	木琴	通崎睦美
弦楽四重奏	モルゴーア・クアルテット	バンドネオン	三浦一馬
ハープ	吉野直子	クロマティック・ハーモニカ	和谷泰扶
ギター	大萩康司	オンド・マルトノ	原田節
フルート	工藤重典	ヴァイオリン	東亮汰
オーボエ	古部賢一		

表3 2021年度 地域住民のためのコンサートのプログラムリスト掲載アーティスト  
(三井住友海上文化財団ホームページより筆者作成)

事業への募集から公演開催までのスケジュールは以下の通りである。

- ・前年 8 月上旬～9 月末 実施市町村を募集
- ・前年 10 月 実施市町村、演奏者を選考
- ・前年 10 月下旬～12 月 開催日の決定
- ・当年 5 ヶ月前 市町村担当者、財団職員、演奏者による打ち合わせ
- ・開催日 コンサート、交流プラン実施

(同ホームページ)

市町村担当者は、前述した選考委員会によって選ばれた約 20 組の中から、三井住友海上文化財団が作成したプログラムリストを参考にして演奏者を選ぶ。プログラムリストは、コンサートの企画をしたことがない担当者でもイメージがしやすいよう、どのようなコンサートであるかの説明や、具体的な演奏プログラムが掲載されている。このプログラムリストは、毎年演奏者に確認を取り、情報を最新のものに更新している。

開催日 5 ヶ月前になると、都内の三井住友海上文化財団の事務所にて打ち合わせを行う。打ち合わせには、開催地域の市町村担当者と財団職員、そして演奏者の 3 者が参加する。市町村担当者からコンサートのテーマや要望などを聞き、どのようなコンサートにするかを 3 者で相談し、内容を考えていく。プログラムリストに掲載されている通りに実施するのではなく、市町村担当者の要望を聞き、3 者で意見を出し合いながらプログラムを作り上げていく。

打ち合わせ後は、市町村担当者が中心となってコンサート制作の業務を行っていく。コンサート制作の業務とは、具体的にはチラシ作成やチケット販売などのコンサート開催に関わる準備のことである。これらのコンサート制作業務を進めていく際には、市町村担当者に対し財団職員がきめ細やかな助言を行う。三井住友海上文化財団は、広報の方法や公演当日の進行など、市町村担当者が悩んだ時は、どんな些細なことでも相談できるサポート体制を整えている。

このような全面的なサポート体制に加えて、三井住友海上文化財団では、コンサート制作についてのノウハウを織り込んだ「開催のしおり」を作成し、市町村担当者に配布している。この開催のしおりは、三井住友海上文化財団が独自に作成したものであり、コンサート制作に関わる業務が分かりやすく詳細にまとめられている。そのため、この資料を見れば、初めてコンサートを企画する担当者でもやるべき業務の内容が分かり、安心してコンサート制作を行うことができる。そしてこの開催のしおりは、地域住民のためのコンサート実施後も、市町村担当者が自らコンサートを企画する場合にも役立つように作成されているため、市町村の貴重な財産となっている。

さらに三井住友海上文化財団では、コンサート鑑賞のマナーを独自にまとめた「知ッ得マナー」というチラシを作成している。このチラシには、観客にコンサートを楽しんでもらうためのポイントがまとめられている。例えば、コンサート中に咳が出そうになった時の対応方法や拍手のタイミングなど、コンサートならではのマナーが丁寧に分かりやすく書かれている。地域住民のためのコンサートを実施する際は、この知ッ得マナーのチラシをプログラムと一緒に必ずお客さんに配布しており、コンサートに足を運ぶ機会が少ない方でも安心して楽しめるように工夫している。

## 5. 考察

### 5-1. パートナーとの関係性

三菱地所「**Shall We** コンサート」、三井住友海上文化財団「地域住民のためのコンサート」の2つの事例から、企業とパートナーとの関係性がどのようなものであるか考察する。

#### 〈文化芸術団体・アーティスト〉

**Shall We** コンサートの三菱地所と日唄文化協会の場合、一緒に実施校に出向き、打ち合わせを行っている。そして、学校の様子やリクエスト内容について三菱地所と日唄文化協会の両方で確認し、その学校に合ったプログラム内容を検討している。筆者がヒアリングを行った際、三菱地所の坂井氏と日唄文化協会の佐藤氏に、事業実施の際に重要だと思うことは何かと質問したところ、児童生徒への配慮という答えが両者から返ってきた。どちらもコンサートに参加する児童生徒のことを最優先に考えており、同じ方向を向いて事業を実施している感じが感じられる。

また、すでに述べたように、日唄文化協会の佐藤氏は、日唄文化協会が **Shall We** コンサートに参加した最初の回から現在に至るまで本事業を担当していることから、日唄文化協会が担当した全ての **Shall We** コンサートについて経験していることになる。そのため、人事異動によって入れ替わりがある三菱地所の担当者にとっては、とても心強い存在であると考えられる。初めて事業を担当する三菱地所の社員は、分からないことや困ったことを日唄文化協会の佐藤氏に聞き、相談することができる。これは、長年同じ団体とパートナーシップを組んでいるからこそそのメリットであるといえる。

一方、地域住民のためのコンサートでは、公演5ヵ月前の打ち合わせにおいて、財団職員と演奏者が一緒に、市町村担当者が考える公演テーマや要望を聞く機会を設けている。財団職員と演奏者は、この打ち合わせでの市町村担当者からの意見を踏まえ、内容を検討し、実施先の市町村に合わせたプログラムを

考える。筆者がヒアリングをした際、三井住友海上文化財団の宮下氏に、事業で重要だと思うことは何かと質問したところ、「地域によってコンサートの内容をカスタマイズすること」という答えが返ってきた。また、宮下氏は、市町村担当者から、市町村に関する情報をなるべく多く聞き出せるよう、市町村の特徴や名物、そして郷土芸能などについて詳しく質問するそうである。最近の例では、水が豊かな町という市町村担当者の話を基に、水をテーマにプログラムを構成したようで、これらの市町村の詳細な情報は、音楽や芸術に関わりのない情報であっても、地域の様子を知る手がかりになり、プログラムを検討するのに大いに役立つ。この事例からもわかるように、財団職員からは、プログラムを検討する際に演奏者に一方的に任せるのではなく一緒に考え、協働で事業に取り組むという姿勢が感じられる。

このことから、2事例ともに、企業と文化芸術団体またはアーティストとの関係は、芸術を支援する企業、支援される芸術団体またはアーティストという一方向の関係ではなく、お互いに意見や持てる資源を出し合いながら協働で事業に取り組む双方向の対等な関係が生まれていることがわかる。

#### 〈行政・学校〉

**Shall We** コンサートは、2004年に開始しこれまでに90回以上も実施されている継続的なメセナ活動である。15年以上継続して実施しているため、実施先の特別支援学校において**Shall We** コンサートの知名度が上昇していることが推察される。前出の三菱地所の坂井氏によると、**Shall We** コンサートに参加したことのある先生が、異動先の特別支援学校でも応募をしてくれたことがあったそうである。また、毎年、都立特別支援学校長会事務局長から許可をもらい実施校の募集をすることができるのも、継続して事業を行うことで、企業と行政の間に信頼関係が生まれた結果といえるのではないだろうか。

地域住民のためのコンサートは、1990年からこれまでに860回を超えるコンサートを実施している継続的な事業である。事業開始当初から、地域住民のためのコンサート事業は、「都道府県、市町村および三井住友海上文化財団の三者の共同開催」（三井住友海上文化財団ホームページ）とし、都道府県や市町村の行政と共同するという意識で事業を実施してきた。前出の三井住友海上文化財団の宮下氏が事業を実施する際に重視していることとして、「市町村や都道府県の担当者としっかりコミュニケーションをとること」と述べている。この発言から、市町村担当者が受動的になるようなパッケージ化されたコンサートを実施するのではなく、市町村や都道府県の担当者と一緒に考え、その市町村でしかできないオリジナルなコンサートを作っていくという、行政と共同で事業に取り組んでいる姿勢が感じられる。また、宮下氏によると、過去に事業

に参加した市町村の担当者から、コンサート運営についての相談を受けたり、自主企画のコンサートの実施報告を受けたりすることがあるそうである。これは、三井住友海上文化財団のきめ細やかな対応やサポートによって、市町村の担当者と財団職員の間信頼関係が生まれているからではないだろうか。

これらの2つの事例は、どちらも10年以上の継続した企業メセナの活動である。行政や学校とパートナーシップを組んで事業を実施することで、企業と行政あるいは学校の間信頼関係が生まれる。それにより、長期に渡る継続的な活動が可能になる。そして継続的な活動を行うことで企業と行政あるいは学校との間に、企業メセナの活動を通して相互に協力し合うような関係性が生まれてくるのではないだろうか。

## 5-2. パートナーのあり方

2つの事例をパートナーという視点から分析すると、**Shall We** コンサートと地域住民のためのコンサートのどちらの事例においても、企業とパートナー団体いずれも、コンサートの観客のことを最優先に考えて事業を実施していることがわかる。

コンサートの観客とはつまり、**Shall We** コンサートでは特別支援学校の児童生徒であり、地域住民のためのコンサートでは事業名の通り、地域住民である。つまり、これはどちらの事例も、特別支援学校の児童生徒と地域住民という、対象を明確にして行われている企業メセナの活動であるといえる。それゆえに、ある対象に対してそれぞれの専門的な立場から意見が言いやすいため、対等な関係を築きやすいのではないだろうか。

**Shall We** コンサートにおいて、パートナーである学校の先生は、毎日児童生徒と接している。そのため、先生は、教育者という専門的立場から観客である児童生徒の興味関心や好きな曲などを知っており、知識や経験に基づいて、企業に児童生徒の状況に適した具体的な要望や提案をすることができる。そして、もう一方のパートナーである演奏団体は、音楽の専門家として様々なリクエストに対応したプログラムを作成し、企業に提案することができる。

地域住民のためのコンサートにおいては、市町村の担当者は、地域の行政や文化振興を担う専門的立場から、地域住民の様子や地域の現状を把握している。そのため、市町村の担当者は、その知識や経験に基づいてどのようなコンサートがいいかなど、地域住民の現状に適した内容や要望を企業に提案することができる。また、もう一方のパートナーである演奏者については、音楽の専門家として地域の実情にあったプログラムを考え、提案することができる（図5）。



このように、特定の対象に向けた企業メセナの活動の場合、様々な主体がそれぞれの専門性を生かした状況が作られるため、事業を協働で行うという意識が生まれやすくなり、パートナーシップを組みやすくなるといえるだろう。

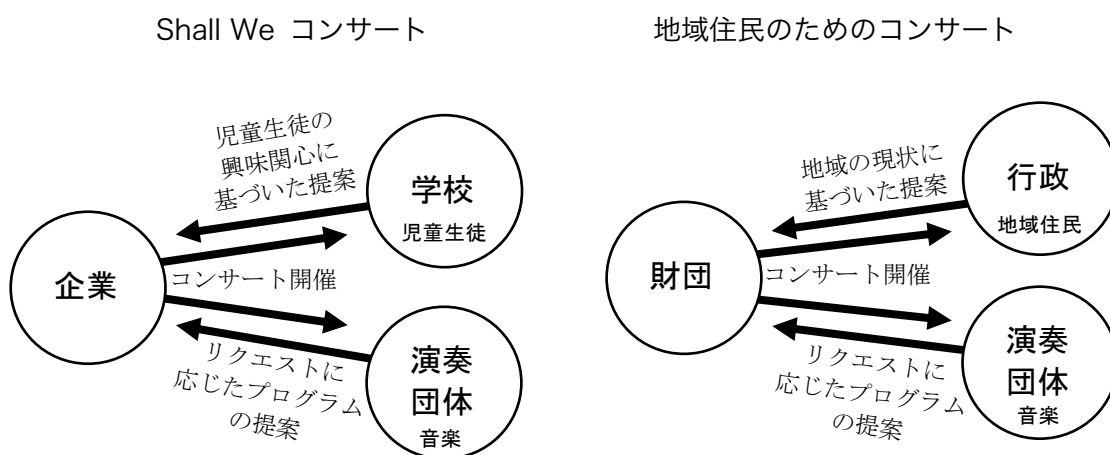


図5 「Shall We コンサート」「地域住民のためのコンサート」における関係図

加えて、**Shall We** コンサートは社会貢献活動・文化芸術支援の取り組みのひとつとして位置付けられ（三菱地所ホームページ）ており、地域住民のためのコンサートは「地方文化の振興にささやかでもお役に立てるよう、一緒に行動するという姿勢をとるべきであろうと考えた。」（三井住友海上文化財団, 2008）という三井住友海上文化財団の設立姿勢から生まれた事業である。このことから、今回取り上げた2つの事例はいずれも、社会貢献や地域文化振興にも寄与する活動であるといえる。このように、特定の対象に向けた活動の場合は、企業とパートナー団体それぞれの専門性を生かした連携が重要であり、活動の目的や形態によって、多様なパートナーのあり方が想定されることが考えられる。

## 6. おわりに

本調査は、企業メセナの活動を企業とパートナー団体の関係性から捉えることを試みた。2つの事例の調査から、企業は、演奏団体やアーティスト、行政や学校といった様々な団体と多様な関係性を構築しながらメセナ活動を実施し

ている様子を捉えることができた。それは、企業から別の団体へという一方向の関係性ではなく、協働で事業を行っていく双方向の対等な関係性であった。

また、今回の2つの企業メセナの事例は、10年以上継続して実施している活動を取り上げたため、企業とパートナー団体との成熟した関係性を考察することができた。事業を継続することで、企業とパートナー団体の信頼関係が深まり、事業の回数を重ねるごとに活動の内容をより良いものに高めていくことができると考えられる。今回取り上げた長期的に継続している企業メセナの活動事例は、新規の企業メセナの活動や、単発で実施する企業メセナの活動においても、パートナー団体との関係性を考える上で参考になるであろう。

## 参考文献

企業メセナ協議会『メセナ白書 1996』（ダイヤモンド社, 1996）

企業メセナ協議会『メセナマネジメント—戦略的社会貢献のすすめ』（ダイヤモンド社, 2003）

企業メセナ協議会『メセナリポート 2001』（企業メセナ協議会, 2001）

〈[https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_2001.pdf)

[content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88\\_2001.pdf](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_2001.pdf)〉 [2021年3月3日閲覧]

企業メセナ協議会『メセナリポート 2002』（企業メセナ協議会, 2002）

〈[https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_2002.pdf)

[content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88\\_2002.pdf](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_2002.pdf)〉 [2021年3月3日閲覧]

企業メセナ協議会『メセナリポート 2003』（企業メセナ協議会, 2003）

〈[https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_2003.pdf)

[content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88\\_2003.pdf](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_2003.pdf)〉 [2021年3月3日閲覧]

企業メセナ協議会『メセナリポート 2004』（企業メセナ協議会, 2004）

〈[https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_2004.pdf)

[content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88\\_2004.pdf](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_2004.pdf)〉 [2021年3月3日閲覧]

企業メセナ協議会『メセナリポート 2005』（企業メセナ協議会, 2005）

〈[https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_2005.pdf)

[content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88\\_2005.pdf](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_2005.pdf)〉 [2021年3月3日閲覧]

- 企業メセナ協議会『メセナリポート 2006』（企業メセナ協議会, 2006）  
〈[https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88\\_2006.pdf](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_2006.pdf)〉 [2021年3月3日閲覧]
- 企業メセナ協議会『メセナリポート 2007』（企業メセナ協議会, 2007）  
〈[https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88\\_2007.pdf](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/%E3%83%A1%E3%82%BB%E3%83%8A%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88_2007.pdf)〉 [2021年3月3日閲覧]
- 企業メセナ協議会『メセナリポート 2008』（企業メセナ協議会, 2008）  
〈[https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/2008\\_mecenat\\_report.pdf](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/2008_mecenat_report.pdf)〉 [2021年3月3日閲覧]
- 企業メセナ協議会『メセナリポート 2009』（企業メセナ協議会, 2009）  
〈[https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/2009\\_mecenat\\_report.pdf](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/2009_mecenat_report.pdf)〉 [2021年3月3日閲覧]
- 企業メセナ協議会『メセナリポート 2010』（企業メセナ協議会, 2010）  
〈[https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/2010\\_mecenat\\_report.pdf](https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/2010_mecenat_report.pdf)〉 [2021年3月3日閲覧]
- 企業メセナ協議会『2019年度メセナ活動実態調査 [報告書] Mécénat Report 2019』（企業メセナ協議会, 2020）
- 企業メセナ協議会『2020年度メセナ活動実態調査 [報告書] Mécénat Report 2020』（企業メセナ協議会, 2021）
- 三井住友海上文化財団『三井住友海上文化財団 20年のあゆみ』（三井住友海上文化財団, 2008）
- 加藤種男「芸術文化支援（メセナ）の新たな方向－企業メセナ活動の変化に着目して－」『文化経済学』3-2（2002）pp.21-27.  
〈[https://doi.org/10.11195/jace1998.3.2\\_21](https://doi.org/10.11195/jace1998.3.2_21)〉 [2021年3月3日閲覧]

## インターネット検索資料

公益財団法人企業メセナ協議会

「事業内容」『公益財団法人企業メセナ協議会ホームページ』

〈[https://www.mecenat.or.jp/ja/about\\_mecenat/business\\_description#business\\_seisaku](https://www.mecenat.or.jp/ja/about_mecenat/business_description#business_seisaku)〉 [2021年3月3日閲覧]

三菱地所

「会社概要」『三菱地所ホームページ』

〈<https://www.mec.co.jp/j/company/about/index.html>〉 [2021年3月3日閲覧]

「障がいのある子どもたちに生演奏を届ける「三菱地所の Shall We コンサート」」 『三菱地所ホームページ』

〈<https://www.mec.co.jp/j/sustainability/activities/social/community/>〉 [2021年3月3日閲覧]

公益財団法人三井住友海上文化財団

「財団概要」 『公益財団法人三井住友海上文化財団ホームページ』

〈<https://www.ms-ins-bunkazaidan.or.jp/foundation/outline/>〉 [2021年3月3日閲覧]

「地域住民のためのコンサート」 『公益財団法人三井住友海上文化財団ホームページ』 〈<https://www.ms-ins->

[bunkazaidan.or.jp/concert/about\\_project/](https://www.ms-ins-bunkazaidan.or.jp/concert/about_project/)〉 [2021年3月3日閲覧]

日唄文化協会

「日唄文化協会沿革」 『日唄文化協会ホームページ』 〈<https://sub-austria.ssl-lolipop.jp/Geschichte.html>〉 [2021年3月3日閲覧]

「日唄文化協会の活動の一部をご紹介します」 『日唄文化協会ホームページ』

〈<http://nichioubunka.html.xdomain.jp/index.html>〉 [2021年3月3日閲覧]